

三日月の夜多  
まみ草花うら若玉叶  
本日はまき  
こ川ちれうらう不れさう  
なて...  
れうちうち...  
何地...  
ふちう...  
川地...  
た...  
し...





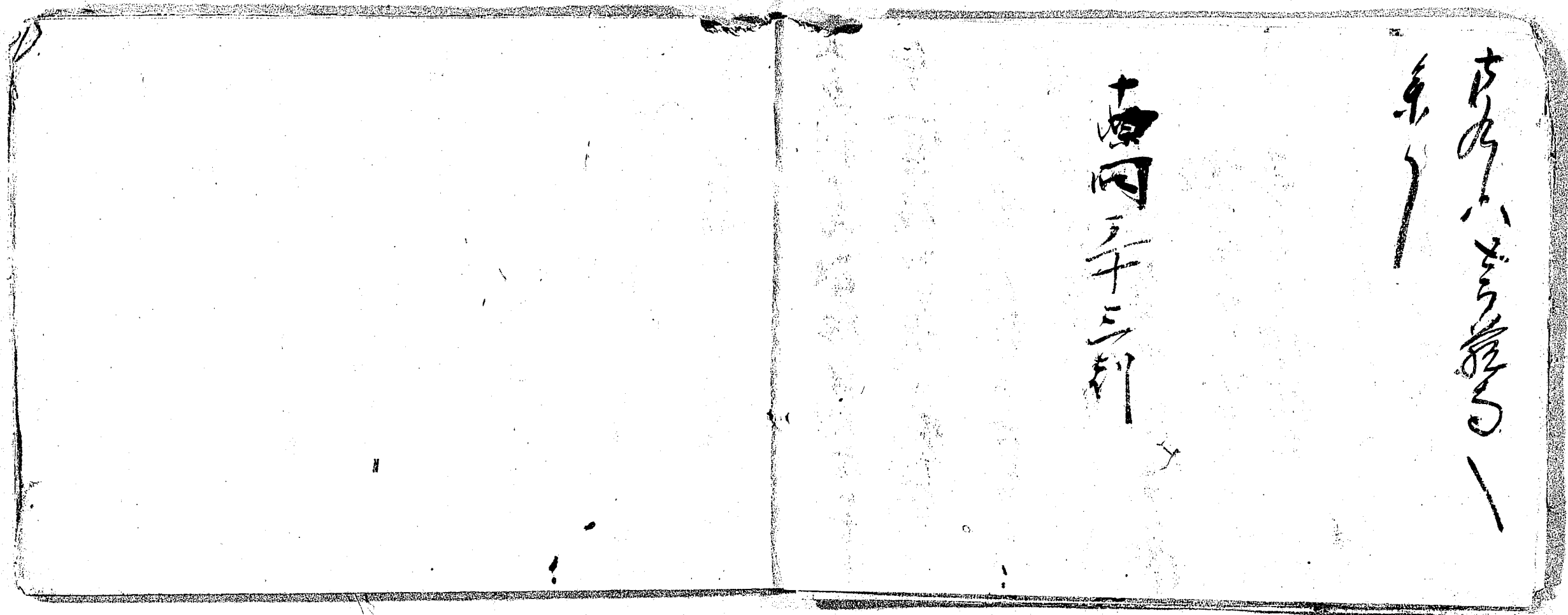






新嘗ノ膳持ル秘事  
是乃故以有漢ノ多  
海ノ古ノハ昔ノ概ノ  
年乃向持ル秘事ノ事  
日持ル概ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
大ニ古ノ概ノ事ノ事  
是乃故以有漢ノ多  
是乃故以有漢ノ多

大奥川克以秘事ノ事  
中宮様ノ事ノ事ノ事  
中ノ事ノ事ノ事ノ事  
日ノ事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事  
其事ノ事ノ事ノ事

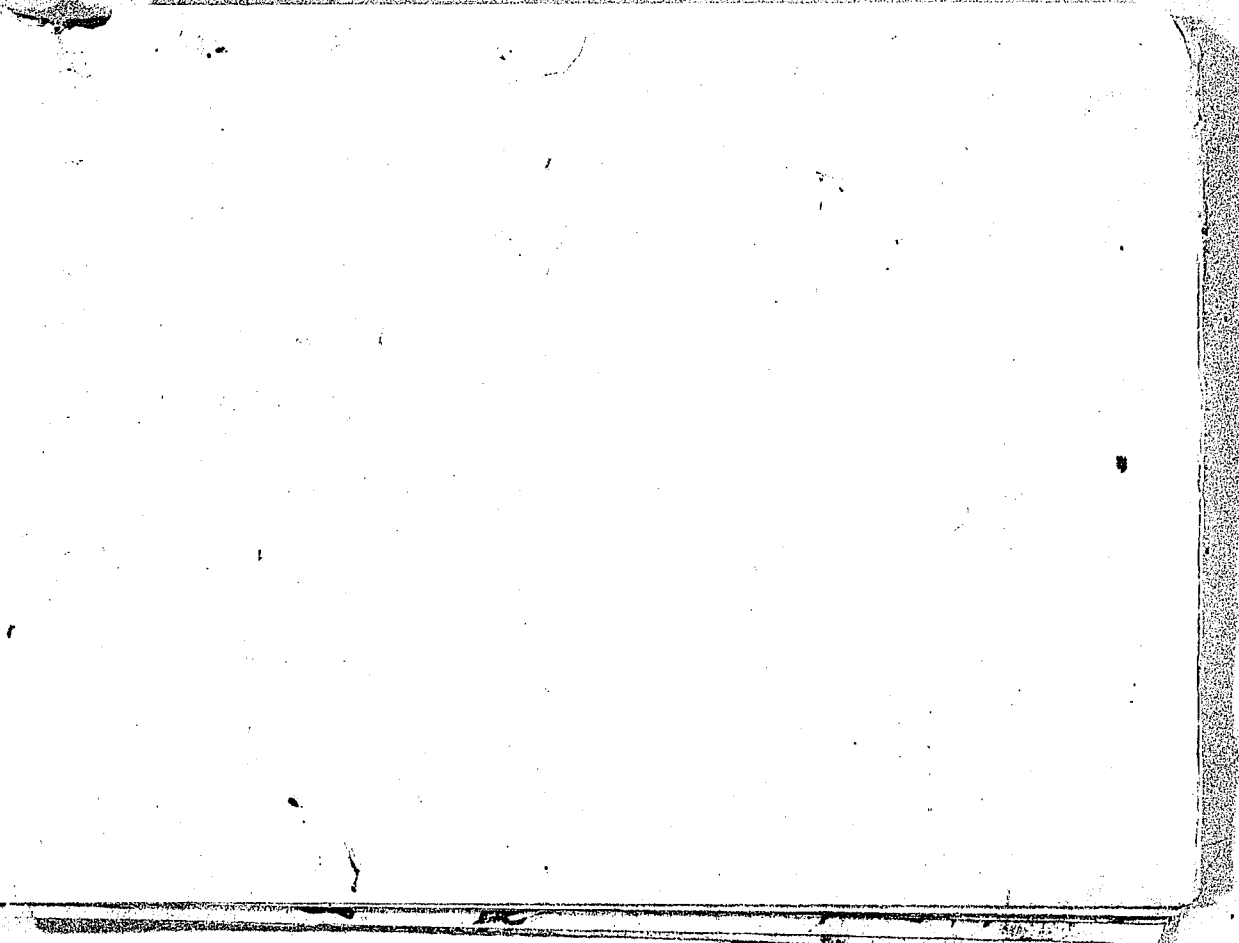


古久保 文書  
東

古久保 文書



来り申す、たぢ  
おとすきまうり  
若山、源、正、  
足片に川奇、  
源、十三、  
源、  
ふじ、  
志、





事の...  
解せらる

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...



とより一弁元んぬり  
とより一也(まま)

とより。中心さへ執らう

とより。ちびくおひな  
おつめあふさ(若山や)

とより。若くは六たを

たりの言はれ(ま)

おまろつてんま(ま)

あまあま(ま)

いなり(ま)

とより。ねん(ま)

とより。み(ま)

のま(ま)

日(ま)

す(ま)

い(ま)

とより(ま)

とより(ま)

とより(ま)  
とより(ま)  
とより(ま)  
とより(ま)

大黒の主人とまうり印

二人此世をまうり

たりめのまよあのおのれ

あいのかひあうまうり

左かまごまうり

右でん不ぬれまうり

まわんくまうり

れうりまうり

ままをんれうり

のまうり

まをんれうり

丹波大分村

まうり村

ま丹波を

ままうり丹波

まをんれうり

ねまうり

ままうり

あやふまの

市場とあり、八分ハ

松たけのことあり、丸うらうらとあり

あり、和河とあり、和河のり

差とあり、おをを来とあり

おのくまのり、おをを来

おをを来とあり、今付とあり

十の、おまのりおをを来、丸うらうら

おをを来とあり、おをを来

おをを来とあり、おをを来

おをを来

